



(HEL 大会特集号)

第49回北海道ESPERANTO大会は、去る9月7～8日の両日北海道自治会館を会場に、全道より29名、東京より3名が参加して開催された。

本大会の首題は北海道におけるエスペラント運動の再興を如何にするか！を参加者全員で協議することであった。

議長団にはS-ro 星田(苫小牧)・椿(札幌)の両氏を選出し、以下の事が協議決定された。

1. これから/年間の活動方針

- (1) エスペラントの普及のため、可能な地区において初級講習会を開催する。
- (2) 機関誌活動の強化を図り連絡を密にする。
- (3) 連盟規約が1964年以降改正されないため現状に合わない事項もあるが明年まで検討を加える。
- (4) 1986年の世界大会(会場:北京)へ積極的に参加をはかる。
- (5) 明年の北海道大会は第50回の意義深い節目を迎えるので、成功を期す。
(開催地:札幌市, 時期:9月予定)
- (6) 継続検討事項
 - (a) 日本大会の北海道開催について
 - (b) 北海道観光地図のエスペラント語訳の作成について

2. 役員の変更について

○議場において選出された役員

会長	三 沢 正 博
副会長	吉 原 正八郎・ 児 玉 広 夫
事務局長	宮 岸 忠 孝
顧問	山 賀 勇・ 高 橋 要 一・ 相 沢 治 雄 木 村 喜 彦 治

○三役に選出を一任された役員(以下の方に就任をお願いします。)

常任委員(札幌ならびに近郊の方をお願いしたい)

新田 為男(由仁町), 星田 淳(苫小牧市),
北畠 瞳(苫小牧市), 椿 陽考(札幌市),
坂下 正幸(江別市), 江口 音吉(小樽市)

委員(地区) ※HELの業務遂行のため札幌地区の会員を委嘱し、札幌以外の地区については、業務が軌道に乗ってから委嘱したい。

・委員の委嘱者氏名と担当業務

- ◎会計事務 浜中 稔
- ◎機関誌発行 宮井 康夫, 小林 貴美子
- ◎事務局次長 未 定
- ◎地方連絡委員 地方より推薦を得て委嘱する

・顧問の指導協力業務分担

- ◎E の普及と講習業務 木村 喜壬治
- ◎会報の編集業務 高橋 要一
- ◎北海道Esperanto 運動史 (第二部) 編集 相沢 治雄

3. 会計報告

(1) H E L の会計報告は前任会計役員の家庭の事情のためまだ引継ぎがなされないため、次号の会報で報告する。

(2) 第49回北海道大会の会計報告

① 収入の部

参加費	88.500円	37名分
会食費	56.000	28名分
寄付金	27.000	6名分
前大会繰越金	20.628		
収入合計	192.128		

② 支出の部

会場借上費	36.800		
会食費	80.795		
事務通信費	24.760		
雑費	1.800		
次期大会繰越金	47.973		
支出合計	192.128		

★あとがき

○木村前会長は心臓疾患のため5月より札幌市立病院に入院、大手術をされましたが経過良好で9月末に退院され、最近はお元気で札幌の諸会合に元気で参加されていますからご安心下さい。

○明年の北京世界大会にご参加の方はご一報下さい。

○1/2月/4日札幌ではザメンホフ祭を40名参加で開催します。(宮岸)